

平成 26 年 10 月 30 日

# 南の風 89

南部ミニバスケットボール連盟  
会 長 藤原 敬一

88号の続きになります。

攻撃を開始する取っ掛かりとなる、エントリーはたいへん重要です。ミニバス、中学校の指導者方は今一度、自チームのボールエントリーの仕方について考えていただければ幸いです。

さて、2つ目はプレスディフェンスに対するボール運びについてです。

中学校の新人戦です。まだガードにゲーム経験が少ないことや、チームとしてのボール運びのやり方が定まっていないこともあり、運びに苦労するチームが何チームもありました。

プレスダウンについては、この南の風でも過去に取り上げました。だぶる部分もあるかと思いますが、基本的なことを中心に書きます。

ガードにキープカがある選手がいる場合は、ドリブルで運ぶことが有効です。インバウンドパスの入れ方が大事です。シールしてポップアウトして受けるのが1つ。ディフェンスの裏をついてミートし、反応すればストップして、逆にミートするのが2つ目。念のため違うプレーヤーが、もう1つパスコースをつくっておくことも大事です。ドリブルで運ぶ時に気を付けることは、トレイルライン（実際には書いていない）の中で運ぶことです。通常プレスは、サイドラインにディレクションしてきます。サイドに追い込まれてトラップされないために、コートの中をドリブルで運びましょう。真ん中を運べば、パスを四方八方に捌くことも可能になるからです。また、レシーバーがドリブラーの前をシャローカットしてスペース（利き手側に）をつくり、ドリブラーを助けるやり方もあります。さらにドリブルスクリーンを使いながらギャップをつくり、一気にフロントコートへボールを進める方法もあります。

次にゾーンプレスにも有効なプレスダウンについて書きます。

インバウンドパスについては上記の通りです。パスの場所ではできるだけ、フリースローラインより遠くへ出すようにします。ベースライン近くにパスすると、後方にパスするスペースがなく大変危険になるからです。

どんなゾーンプレスであっても、トラップ（ダブルチーム）する時は、2-2-1の隊形になります。ボールに2人、パスカットが2人、セフティ1人という布陣です。トラップがきた時に最も安全なエリアは、トラップされた場所より後方のエリアです。このエリアにパスすること（リバースパスバック）が極めて大事です。一度パスを戻し、再び前進させることを狙いましょう。リバースパスバックでボールを受けたプレーヤーは、前で空いているプレーヤーへのパスを狙います。こうすることによってゾーンプレスのトラップをかわすことができます。

最後にプレスに対する注意点を書きます。まず、決して慌てないことです。ドリブラーはリバースターン避けましょう。トラップされやすくなります。また、ボールを受けるレシーバーは、素早いミートとシェービングを心がけましょう。シェービングは、当然前向きか後ろ向きかを瞬時に判断し、前回りか後ろ回りを行います。そして常にフェイスアップし、パスのチャンスを狙いましょう。下を向いてドリブルすることはプレスの餌食になります。ではまた次号で。